

平成30年度 県立皆与志養護学校

教材・教具等研修発表会



P1～P2 プレゼンテーションの部（計4点）

P3～P11 展示の部（計32点）

日時：平成31年1月21日（月）
15:50～16:55

場所：職員室

教材・教具名：磁石でゲット

製作者：前岡

主な使用場面・領域・教科等：自立活動



<作り方（材料・製作手順・アレンジ方法など）>

材料：美作檜すのこ（セリア）・ボルト（ダイソー）・磁石
① すのこに穴を開ける。（ボルトの太さ・適度な数）
② 指でボルトが取れないように穴を拡げる。
(ボルトの頭のサイズの太さ・5mm程度深さ)
③ ボルトを取るための磁石を使った教具の作成。
(適切な太さや長さで)
※ 取ったボルトを入れる教具を作る方が子どもにはわかりやすい。

<ねらい>

はさみやペンなど安全や汚れなどを気にせずに道具を使った活動のファーストステップとして。

<使用方法・留意点等>

- ① 型はめなどの「手を使った学習」の次のステップとして使用してほしい。
(例) ①ボルトを穴に入れる⇒②ボルトを磁石から外して穴に入れる⇒③磁石にボルトを付けて…
② 穴にボルトを入れて片付けることで、ボルトの紛失（誤嚥等）を防ぐ。
③ スタンプ押しなどの生活上の課題につなげていってほしい。

<成果・課題・展望等>

強力な磁石を使うことで、ボルトがくっついてくる感覚が分かりやすく、因果関係もつかみやすい教具である。多少の中毒性があるようで、繰り返して取り組もうとすることも。

教材・教具名：ドライバーでGET

製作者：前岡

主な使用場面・領域・教科等：自立活動



<作り方（材料・製作手順・アレンジ方法など）>

材料：ゴルフボール 風呂いす（ダイソー）+ドライバー
※ ゴルフボールとシンデレラフィットな風呂いすを買う。
① ゴルフボールに電動ドリルで穴を開ける。
② 穴に挿せるようなもので、先端が尖りすぎていない、安全なものを準備する。

<ねらい>

道具を使った課題「磁石でゲット」の次のステップ。子どもが「穴にしっかりと合わせていく」課題として作成。①ボールの穴に挿す⇒②ボールを椅子の穴に入れるに昨年度紹介した「串挿し」と合わせて使う。

<使用方法・留意点等>

ゴルフボールの穴に棒を挿すことが分かる認知力が必要だが、ゴルフボールを押し込むの活動を抽出すると利用の幅が広がる。児童生徒の好きな感触であることも多い。

<成果・課題・展望等>

注視ができるレベルになるので、目と手の協応動作を総合的に高めたい。

教材・教具名：Bumbo Wheelchair

製作者：久保（やまびこ PT）

主な使用場面・領域・教科等：部屋内、廊下



<作り方（材料・製作手順・アレンジ方法など）>

- 〈購入〉転倒防止用のキャスター
- 〈廃材利用〉バギーのタイヤ、天板、バンボ、L字金具
- ①天板にL字金具、キャスターを取り付ける
- ②バンボとタイヤをアライメントに注意しながら天板に取り付ける

<ねらい>

移動用玩具として車椅子操作を遊びながら学ぶ

<使用方法・留意点等>

- ・対象児は二分脊椎やSMA等、将来的に車椅子が必要となる児童を対象とする
- ・使用開始時期は両手を別々に使うことができるようになる生後7か月頃から

<成果・課題・展望等>

個人用車椅子は高価であるため、将来的に車椅子が必要になったとしても購入時期が遅れる事がある。脊髄に起因する障害であれば移動能力のある程度の予測を立てることが出来る為、Bumbo wheelchairを用いて早期に移動能力を補填することができる。

教材・教具名：ワッフル・ボード（文字盤）

製作者：原田（やまびこ PT）

主な使用場面・領域・教科等：車椅子座位、床座位



<作り方（材料・製作手順・アレンジ方法など）>

- ①仮名文字、数字、アルファベット、高頻度使用語を選定
- ②滑り止めマット（ダイソー）をA4サイズに切る
- ③文字数に合わせて滑り止めマットを切り抜き、枠を作る
- ④滑り止めマットを文字盤に糊付けする
- ⑤ラミネートする

<ねらい>

脳性麻痺（アテトーゼ型）である使用者の手の振戦によるポインティングミスをなくすため、文字盤に1mm程度の盛りのある枠を設けて、指先が文字盤の枠からはみ出ないようにすることで、効率的にコミュニケーションをとることができる。

<使用方法・留意点等>

話し手は文字盤をポインティングし、聞き手は確認や補足をしながら、意思伝達を図る。

<成果・課題・展望等>

成果：ポインティングの際、聞き手がポインティングの文字を認識しやすくなつたことにより、誤認識時の“No”的身振りの手間がなくなり、スムーズなコミュニケーションにつながつた。

課題：ラミネートをすることによって、本来の滑り止めマットの厚さがなくなり、やや盛りの高さが不十分である。

教材・教具名：負荷負荷（ふかふか）モップ

紹介者 前岡

主な使用場面：自立活動、委員会活動（美化活動）他



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- ① モップの先を外し、適当な太さの棒に取り替える。
- ② 棒の先に穴を開け、100均のクランプ大（または中に穴を開けたもの）と棒を結束バンドで止める。
- ③ 適度な重りを、モップの上に乗せ、固定する。
※ 車椅子や歩行器等に簡単に付けられ、外れることはほぼ無い。車椅子等の使用時に使用することで、適度に重さが加わり、コントロールがしやすくなることも考えられる。

教材・教具名：輪抜き 3D

紹介者 前岡

主な使用場面：自立活動



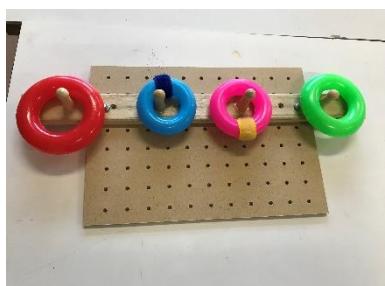
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- 材 料：マグカップ掛け（ダイソー）
作り方：マグカップ掛けの棒の長さを調節し、ボルト等で台に付けられるように穴を開けた。
使い方：上や手前に抜くことが多い輪抜き課題を左右や奥に抜くことを学ぶための課題。上や手前に抜くことができるようになった次のステップとして使用する。奥に抜くことが難しい児童生徒が多くいた。

教材・教具名：4連輪抜き

紹介者 前岡

主な使用場面：



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- 材 料：ハンガーをかけるフック（木製4連・ダイソー）
使い方：始点～終点の学習で、複数の課題をこなしたらクリアという学習の取りかかりに使用。課題とする個数（1～4個）を提示して、全部終わったら賞賛する（1つ1つでは賞賛しない）ことで始点～終点のバリエーションを増やすことをねらって作製した。

教材・教具名：ボイス相撲（市販品）

紹介者 前岡

主な使用場面：十五夜行事等でのレクリエーション



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- 声（音）で操作するとんとん相撲。マイクで音を感知し、自分の色（赤 or 青）に光り、振動する。
VOCAの音で操作することも可能である。

教材・教具名：スイッチで撒水

紹介者 前岡

主な使用場面：日生や生単



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

作り方：ダイソーの電動石油ポンプ(500円)を改造して作成。

① スイッチの部分を3.5mmジャックに代える。

② 先端の水圧を確保するため小さな穴に加工する。

留意点：実態に応じてラッチアンドタイマーを使用する必要がある。

教材・教具名：一人用トランポリン（市販品）

紹介者 前岡

主な使用場面：自立活動・体育他



〈使い方（出典・購入場所等）〉

直径102cmの一人用トランポリン。四つ這いで乗り降りの練習や手すりを握ってのつかまり立ち、あぐら座位や端座位などができる。

トランポリン上でロールやビーンズバルーンを使った座位や膝立ちなどをする際にも、介助者がトランポリンに乗る必要がないため、介助姿勢が安定し、行いやすい。

教材・教具名：コット（市販品）

紹介者 前岡

主な使用場面：感触遊び（腹臥位・仰臥位）



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

ピンと張った布状のベッド（担架に寝るような感覚）。トランポリンのように体重が1点に集まりにくく、トランポリンより弱い動きでも反動が得られる。一方で、軽いために転倒のリスクがあり、動きの大きな児童生徒には向きである。上限は120kgまで。

教材・教具名：たべもの・のりもの・どうぶつカード（市販品） 紹介者 前岡

主な使用場面：自立活動

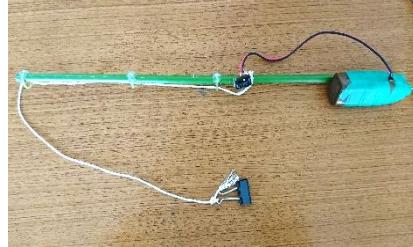


〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

ダイソーで購入できる、2ピースの絵あわせカード。複数の種類を購入することで、好きなジャンルを選べたり、なかまわけの学習ができたりもする。また、両面とも使用できるため、ワーキングメモリーの課題としても活用できる。

教材・教具名：	洋服畳みボード	紹介者	関
主な使用場面：	日常生活の指導（朝・帰りの更衣後）		
		〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉	

- 段ボールとガムテープを準備し、YouTube の作り方動画を見ながら作成。
- ①右側（青印）を畳む②左側（赤印）を畳む③下側（黄印）を畳むで、畳み方完了。
- 教師が言葉掛けをしなくてもできるようになってほしいですが、まだまだ改良と練習が必要です。

教材・教具名：	ぶるぶる魚釣り	紹介者	町田
主な使用場面：	生活単元学習等		
〈図・写真〉	〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉		
	材料 カプチーノ用ハンドミキサー、たこ糸又はテグス、園芸用支柱、結束バンド、紙粘土又は樹脂粘土（百均） 使い方 たこ糸の先端に磁石を付け、魚を釣る。 ある程度の重りを付けた魚が磁石にくっつくと、重みでスイッチが入り、ブルブルと震える。		

教材・教具名：	マグネットスタンプ	紹介者	古木
主な使用場面：	生活単元学習・模様作り		
	【作り方】 材料（容器、マグネット、布ガムテープ、スポンジシート）は全てダイソー。容器を準備して、持ちやすいように弾力のあるスポンジシートで被う。底面には、布ガムテープを張ったマグネットシート。 【使い方】 インクをスタンプでつける。ホワイトボードに台紙を設置。磁力をを利用して模様作りを行う。 【備考】 着けたあとすぐに剥がして着けると、色が重なって濃淡が出る。色を増やしていくと鮮やかな模様になる。		

教材・教具名：	ハンドベルの玉を引っ張りすぎた結果・・・	紹介者	西村
主な使用場面：	生単、音楽		
	〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉		

- 壊れたバネを短くカットして、玉を外側に紐で取り付ける。
 - 金属が当たる音がしないようスポンジを挟んで、点滴台に取り付ける。
- ☆ 破壊的な力でもハンドベルを壊さずに音が鳴らせた。

教材・教具名： こげ食パンでぱん・ぱん・ぱん

紹介者 西村

主な使用場面： 生単



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

1 百均のこげ食パンスポンジにヘアゴムを通す。

2 百均のアジャスターを取り付ける。

☆ 指や手首に着けて、絵の具で模様付けをした。

教材・教具名： 怪力バスタオルくん

紹介者 西村

主な使用場面： 生単



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

1 輪投げ用の輪にバスタオルを縫い付ける。

☆ 手で握ったり肘に掛けたりしながら引っ張って、ボウリングボールを転がすことができた。

教材・教具名： 握ってググッと。

紹介者 西村

主な使用場面： 生単



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

1 透明の下敷きに、取っ手を付ける。

2 反対側には、ビニールテープやマスキングテープ（粘着力の弱いもの）を付ける。

☆ 写真や文字の表側が見えるようにして下敷きに貼り、手で握った状態で画用紙などにググッと押し当てて貼る。
(写真や文字の裏面には両面テープが貼ってある)

教材・教具名： キラキラ日付調べ

紹介者 西村

主な使用場面： 日常生活の指導



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

1 クリップと強力磁石で日付カードが隠れるようにする。

2 紐に百均のキラキラボールを取り付ける。

☆ 光ったり揺れたりするボールに意識を向けて、自分で触つて 紐を引っ張り、隠れている日付カードを出す。

教材・教具名：	つかんで・にぎって天気調べ	紹介者	西村			
主な使用場面：	日常生活の指導					
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉						
<p>1 百均のマグネット缶に天気イラストを貼る。</p> <p>☆ 手を大きく広げて指で掴んだり、缶の側面を覆うようにして握ったりしながら、マグネットボードに貼る。</p>						

教材・教具名：	SRC-W クッション	紹介者	大園			
主な使用場面：	自立活動					
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉						
<ul style="list-style-type: none"> ○ ウレタンを切ってコの字型にボンドで接着し、キルトでカバーを作った。 ○ SRC-W で膝を曲げた姿勢をとるときに使用した。クッションによって足の位置が固定されるため、動きの多い生徒でも安全に姿勢を保持することができた。 						

教材・教具名：	セコウェイ改 (for SRC-W)	紹介者	前岡			
主な使用場面：	自立活動・体育（運動会グループ種目）					
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉						
<p>立位台用に作っていた「セコウェイ (H29 教具展資料参照)」を SRC-W 用にリメイク。</p> <p>動力の電動ドリル(12V)にスイッチが耐えられず熱を持ってしまうためそのアタッチメントと SRC-W に座って乗れるように板を取り付けた。大園先生が作った SRC-W クッションと合わせて使うことで、座位の状態で、スイッチ操作で進む SRC-W を作ることができた。</p>						

教材・教具名：	手・手首ベルト	紹介者	小森園			
主な使用場面：	生単・音楽					
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉						
<ul style="list-style-type: none"> ○ ハンドベル、筆、ペンなどをベルトの中の小さなポケットに入れてマジックテープで固定する。 ○ 自ら手を動かし、活動に取り組むことができるることをねらいとする。 						

教材・教具名：	しっかりポジショナー	紹介者	吉住
主な使用場面：	自立活動		
〈図・写真〉	 		
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉	<ul style="list-style-type: none"> ○ リハで使用しているポジショナー（少し小さくなったとのこと）を参考に作成した。材料は ウレタン・布・マジックテープで。 ○ しっかりと体が固定された状態での、肘立て位腹臥位の姿勢保持・側臥位からの寝返り・主体的な手指活動をねらいとし、20分程使用している。 		

教材・教具名：	上を向いて取ろう	紹介者	吉住
主な使用場面：	自立活動 他		
〈図・写真〉			
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仰臥位の姿勢で、上に手を伸ばして物を掴んで取る動作を引き出すために作成した。マジックテープで鈴を付け音を手がかりに探ったり、「ビリッ」とはがす感覚を楽しんだりできるように。他にも、布をかけて匂い遊び・暗幕をかけて即席光遊びに活用したい。 		

教材・教具名：	りんりんベル	紹介者	吉住
主な使用場面：	自立活動 他		
〈図・写真〉			
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「マジカルトイボックス」で紹介されていたベル。材料は、100均の自転車のベルと握力を鍛える器具・スポンジの棒。ベルのつまみと棒をコンクリートボンドで固定。 ○ 子どもたちの少しの力と動きでも大きなベルの音が出るので学習の始まりの合図などに使用した。 		

教材・教具名：	ジャラン	紹介者	岩元浩
主な使用場面：	自立活動		
〈図・写真〉			
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉	<ul style="list-style-type: none"> ・市販のミニ洗濯板にゴム紐を通して、ビーズを付ける。 ・自分でビーズを引っ張って、感触やジャラジャラする音を楽しんだりする。 		

教材・教具名：トーンチャイム鳴らそう♪

紹介者 今吉

主な使用場面：トーンチャイムの演奏



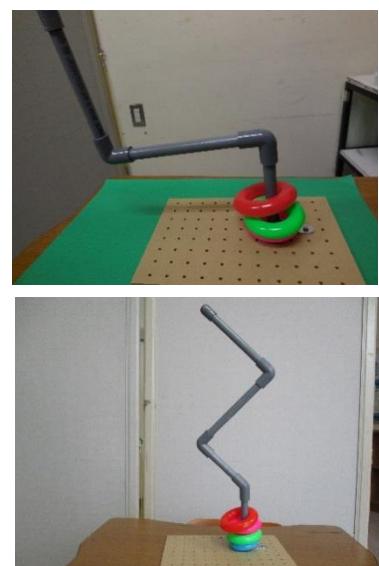
〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- トーンチャイムに直接触れたり、ヒートンにひもを付けて引いたりしてトーンチャイムを倒し、鳴らすことができる。
- 雑音を軽減するために、フェルトを貼った。

教材・教具名：輪っかはずし

紹介者 塚田

主な使用場面：自立活動



（作り方）

- 1 パイプを適当な大きさにいくつか切断する。
- 2 土台と支柱部分のパイプをL字金具等で固定する。
- 3 接続パーツを使い、パイプを組み立てる。

（使い方等）

- ・ つなげるパイプの個数や長さや輪っかの大きさを変えることで難易度を調整することができる。
- ・ パイプを付け替えたり、提示する向きを変えたりすることで、縦や横、斜めなど様々な方向に腕を動かす練習ができる、認知面の向上も期待できる。

（備考）

- ・ 手元を見ながら活動することに課題がある児童について、パイプを2本つなげるだけだと簡単なようで手元を見ずに手探りでしてしまうが、パイプを4本、5本つなげることで、手元を見て活動することができている。

教材・教具名： ゴー ストレート

紹介者 森田

主な使用場面： 美術 ・ 生単



購入先等

- ・ ラジコン購入（ザ・ダイソー 100円）
- ・ 電池、コード、指筆、スイッチ、机（学校用）

使い方

- スイッチを押すとラジコンが動き、水彩絵の具やポスター色などでラインを描くことができる。
- 1～2学期には、A・Kさんが色や方向を選択し、教師に伝えながらデザイン画を制作することができた。

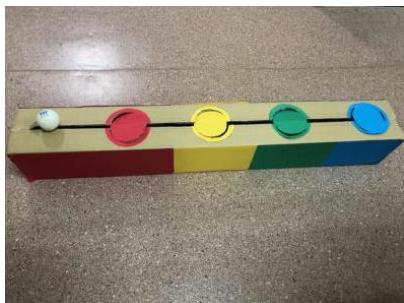
A・Kさんスイッチ操作が上達し 四つ切用紙に描画しました。難点は、ストレートラインしか描けないことです・・・



教材・教具名： ピンポン球吹き

紹介者 岩元展

主な使用場面： 自立活動



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- 1 デスクマットの空き箱の長い面の中心に、まっすぐな切れ込みを入れ、ピンポン球が通る道を作る。
- 2 子どもの呼気の量に応じて、4段階の円形の穴を作る。
 - 高さの調整がすぐできる机に装置を置き、ストッパーの横にピンポン球を置く。
 - 口をすぼめて呼気を調整し、ピンポン球を転がす。呼気の量・勢いに応じて、円形の蓋を赤⇒黄⇒緑⇒青の順に外す。

教材・教具名： 自分で書けるペン

紹介者 古市

主な使用場面： 各教科学習



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- 1 ハンドクリップカバーに習字用筆（その他何でも）を入れる。緩みがある場合はフェルト等で筆に厚みをつけて固定する。
- 2 指先無し軍手の親指と人差し指の一部を縫い付け、空洞を作り筆を差し込む。
- 3 軍手をそのまま右手に着けて学習をする。

購入場所：ダイソー

教材・教具名：天気セット

紹介者 川畠

主な使用場面：自立活動（訪問教育学級）



〈図・写真〉

〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- プッシュライト、ラップ芯、ビーズ、フェルト使用。
 - 天気調べを通して、光（晴れ）、音（雨）、感触（曇り）等の刺激を受けられるようにする。
- ※ 天気について、できるだけ実際に視聴したり、触れたりして感じることも大切にしたい。

教材・教具名：クラゲドーム

紹介者 川尻

主な使用場面：自立活動

〈図・写真〉



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- 1 ペットボトルに ビーズやキラキラテープなどを入れる。
- 2 水1：1洗濯のりの分量で8割程度入れ、ふたをして粘度を確かめ、分量を調整する。
- 3 適度な粘度になり、液をほぼ満杯にしたら、ペットボトルのふたにビニールテープ等で漏れないようにする。

【参考】

ネットに掲載されていた、「スノードームの作り方」を参考に作成した。きらきらと光り、動く様子をよく見ていた。

教材・教具名：片栗粉スクイージ

紹介者 川尻

主な使用場面：自立活動



〈作り方・使い方（出典・購入場所等）〉

- 1 ボール等に色水と片栗粉（多めに）を入れて、トロットするまで片栗粉を入れる。
- 2 ろうとを使って風船に入れる。（風船は薄めの色（白）がよい）
- 3 風船の口を縛って完成。

【参考】

ネットに掲載されていた、「スクイージの作り方」を参考に作成した。握ったり凹んだり飛び出したりする感触を味わうことができた。